

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2023年1月30日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
OM58 9	BRAF V600E タンパク (IHC) 5D591-0000-075-666	未染標本 スライド	未染標本 スライド 4枚	Z10 (t)	室温	5~10	1600 ※8	免疫組織化学 染色法 &1

※8：病理判断料



● BRAF V600Eタンパク (IHC)

大腸癌におけるリンチ症候群の診断補助および化学療法の実施補助に有用な検査です。

BRAF V600E遺伝子変異は大腸癌の約5%に認められ、変異陽性の患者は予後不良であることが知られています。BRAF V600E変異検査は、切除不能進行再発大腸癌患者に対する予後予測に応じた治療選択や切除可能進行再発大腸癌患者に対する再発リスクに応じた治療選択、大腸癌患者に対するリンチ症候群の診断の補助を目的として実施することが推奨されています。

本検査は、免疫組織化学染色 (IHC) 法により、がん組織中のBRAF V600E変異タンパクの陽性・陰性を判定いたします。広く普及しているBRAF V600E遺伝子検査と本検査の良好な相関性が確認されたことから、同様の臨床的意義にて、新たに保険適用となりました。

▼疾患との関連

大腸癌
リンチ症候群

▼関連する主な検査項目

RAS・BRAF遺伝子変異解析
MMRタンパク (IHC) (リンチ症候群)
MSI検査 (リンチ症候群)

▼検査要項

検査項目名	BRAF V600Eタンパク (IHC)
項目コード	親：OM58 9 BRAF V600Eタンパク (IHC) 子1：OM59 6 判定 子2：OM60 6 医師による判定
検体量	未染標本スライド 4枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	5~10日
検査方法	免疫組織化学染色法
報告内容	子1 判定：陽性、陰性、判定不能 子2 医師による判定：報告コメントとして判定した医師名を報告します。
検査実施料	1600点 (「N002」免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製「7」×4回分)
判断料	130点 (病理判断料)
備考	&1

※保険適用条件については「SRL NEWS No2023-001 検査実施料に関するお知らせ」をご参照ください。

＜ [OM58 9] BRAF V600Eタンパク (IHC) の提出方法 ＞

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書 (コピー) の添付をお願いいたします。
(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。) なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名 (組織型等) の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は大腸癌の未染標本スライド (ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの) となります。
シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。
- 5) 組織の固定については、10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。

●参考文献

名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版 (学際企画): 147~150, 2002. (検査方法参考文献)
Dvorak K, et al: Pathol Oncol Res 25 (1): 349~359, 2019. (臨床的意義参考文献)